

新しい学校のイメージについて
(宮寺・二本木地区小学校 ハード面)

統合して新設する新しい学校のイメージについて、ハード面から想定している整備内容は以下のとおりです。

【環境性能（省エネ）】

- ・LED照明により、明るく目に優しい環境を整備します。
- ・断熱効果の高い素材を活用し快適性を確保するとともに、ランニングコストの低減を図ります。

(検討事項)

- ・太陽光発電については、効果を検証した上で設置を検討します。

【バリアフリー・ユニバーサルデザイン】

- ・スロープ、手すり、案内板、誘導ブロックなど、バリアフリー化に必要な設備を整備します。
- ・トイレは車いす対応を図ります。
- ・車いす対応エレベーターを設置します。

(検討事項)

- ・多目的トイレの設置の必要性について検討します。

【防災・防犯】

- ・セキュリティ確保のため、モニター付インターホンや防犯カメラを設置します。

(検討事項)

- ・防災用の設備として、非常用発電機の設置を検討します。
- ・災害時に活用できる飲料用の受水槽の整備を検討します。

【施設設備全般】

- ・全室にエアコンを設置し、冷暖房完備の快適な学校環境とします。
- ・トイレは洋式化し、必要に応じてウォシュレットを設置します。
- ・生活環境の向上を図るため、校舎内を木質化します（調湿効果、快適性など）。
- ・子ども未来室事業を推進するために、特別支援学級や通級指導教室を整備します。
- ・自校給食の実施に必要な施設設備を整備します。
- ・学童保育室は校舎内に設置します。
- ・ロッカーや家具など一般的な設備は、規格品を活用し、ランニングコストの低減を図ります。

(検討事項)

- ・ランチルームや特別活動室、PTA活動室など、教育環境の充実に必要な居室の整備を検討します。
- ・不老川の治水対策を考慮するとともに、地域の防災拠点（避難所）としての機能を備えた施設整備を行います（トイレ、食糧備蓄、体育館の冷暖房など）。
- ・プールは廃止し民間施設の活用を検討します。これはランニングコストの低減と、民間の専門家による水泳指導を行うことで安全性確保と教育の充実を図ることを目的とするものです。
- ・ICTを活用できる施設環境の整備を検討します。